



Arcserve Replication & High Availability ご紹介

Arcserve Japan





- **Arcserve Replication 概要と仕組み**
 - レプリケーションの概要
 - レプリケーションの仕組み
- **確実なレプリケーションを支えるコンポーネントと機能**
- **その他情報**
- **ライセンス構成**



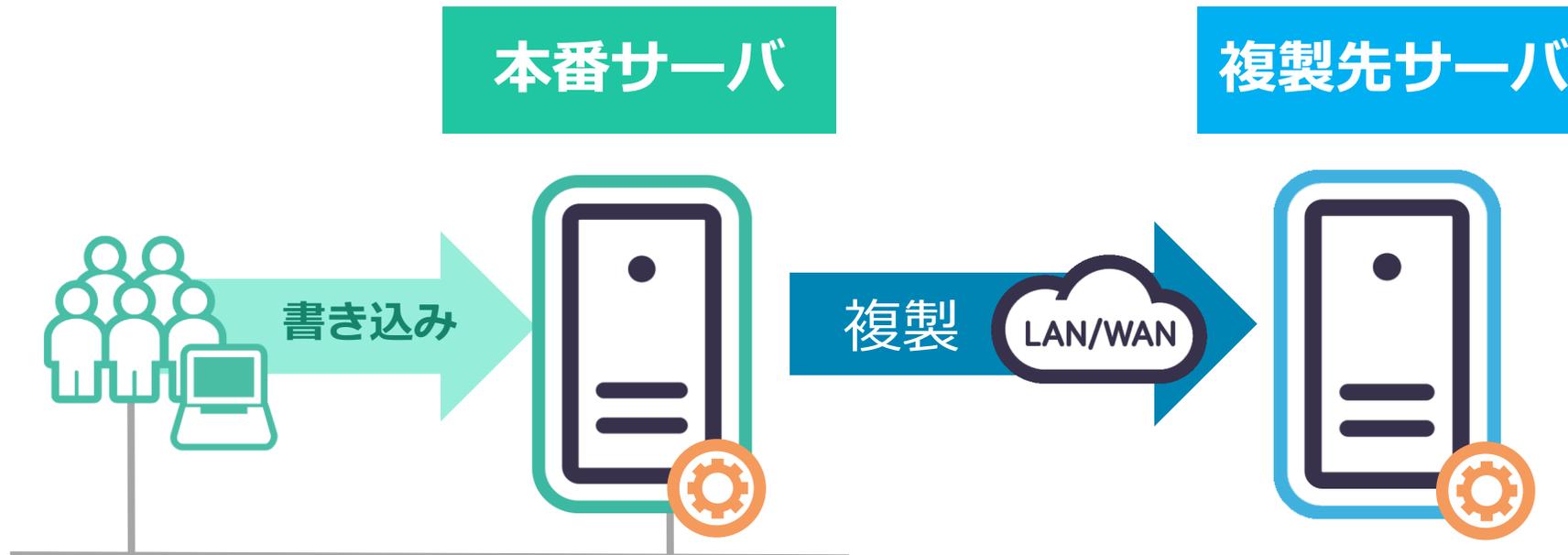
Arcserve Replication 概要と仕組み

レプリケーションの概要



レプリケーションとは

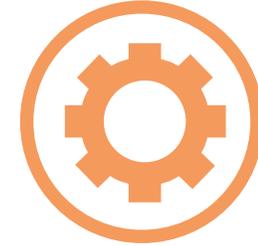
- ・ ユーザの更新データをリアルタイムに複製
- ・ 本番サーバ障害時に切り替え運用ですぐに業務を継続





レプリケーション、ここがすごい！

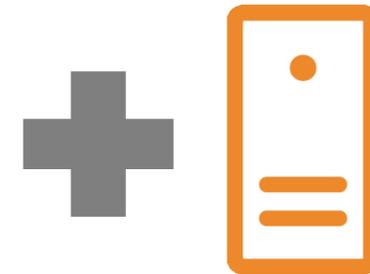
手間要らずの自動データ保護



簡単切り替え運用で
サーバの可用性を向上



後付けで簡単導入

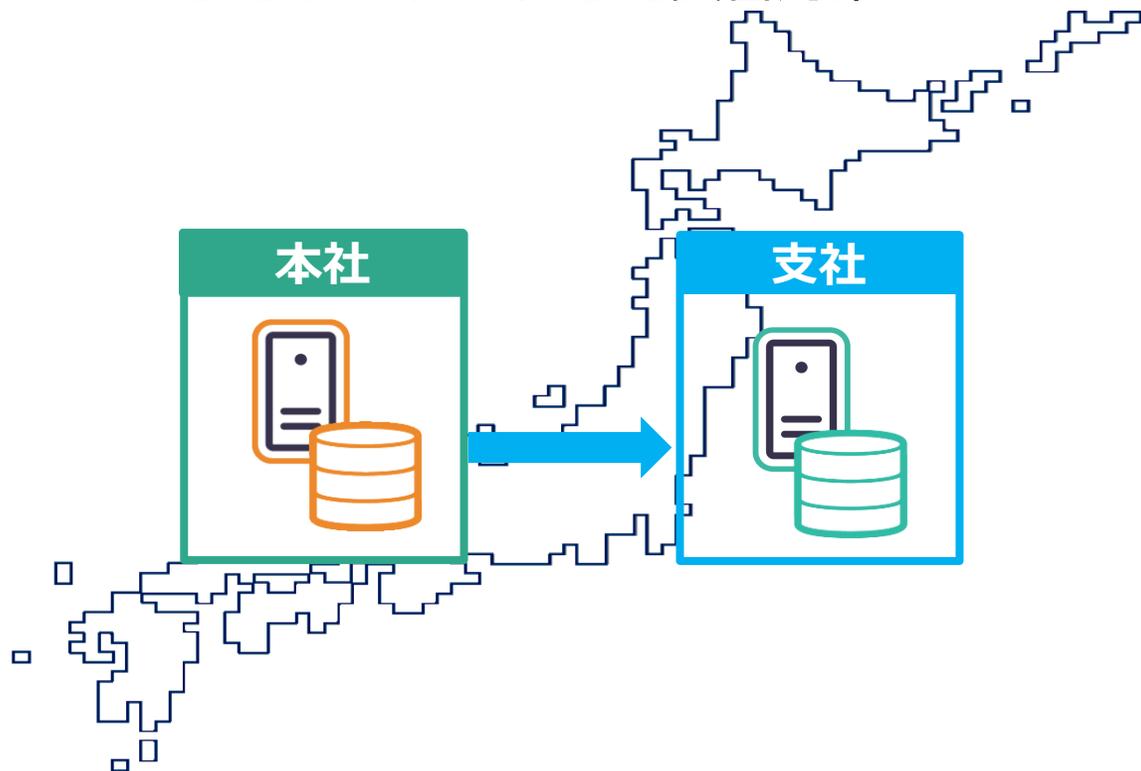


案件例 1：遠隔地へデータ転送



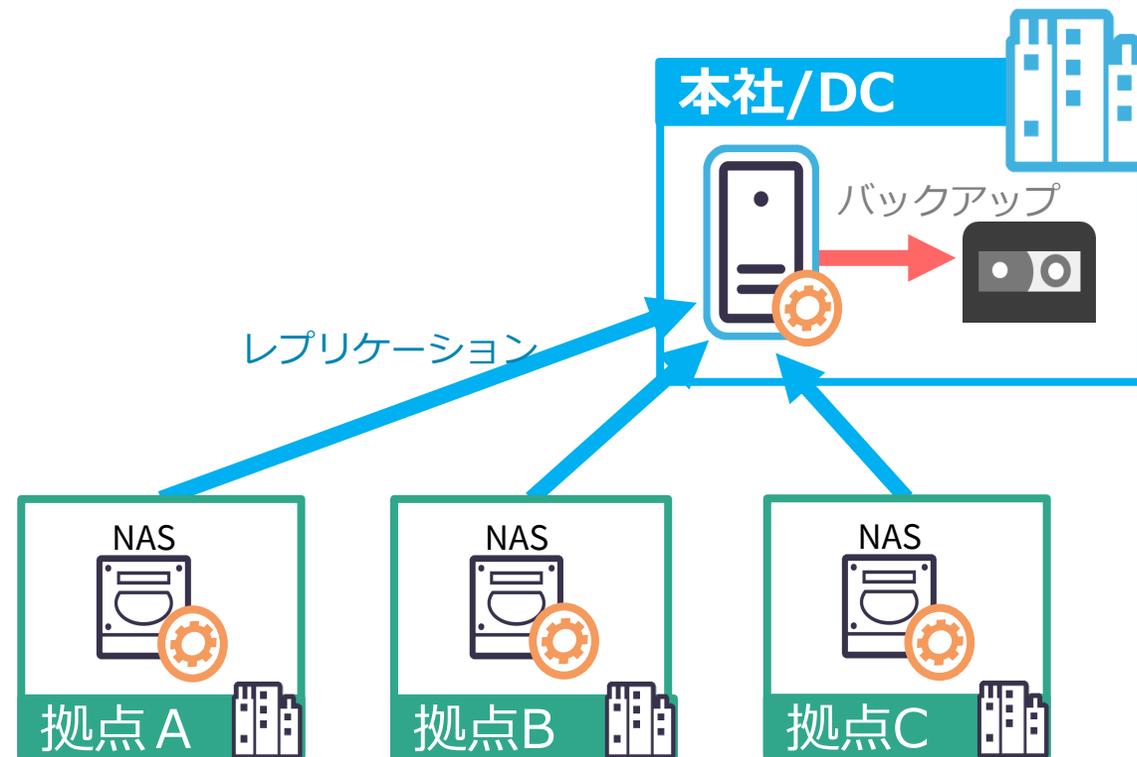
遠隔拠点へのデータ転送

自社拠点へ本社データを
レプリケーションして災害対策



拠点サーバの遠隔統合バックアップ

データを1ヶ所に集約しバックアップ
バックアップ管理は本社/DCで実施

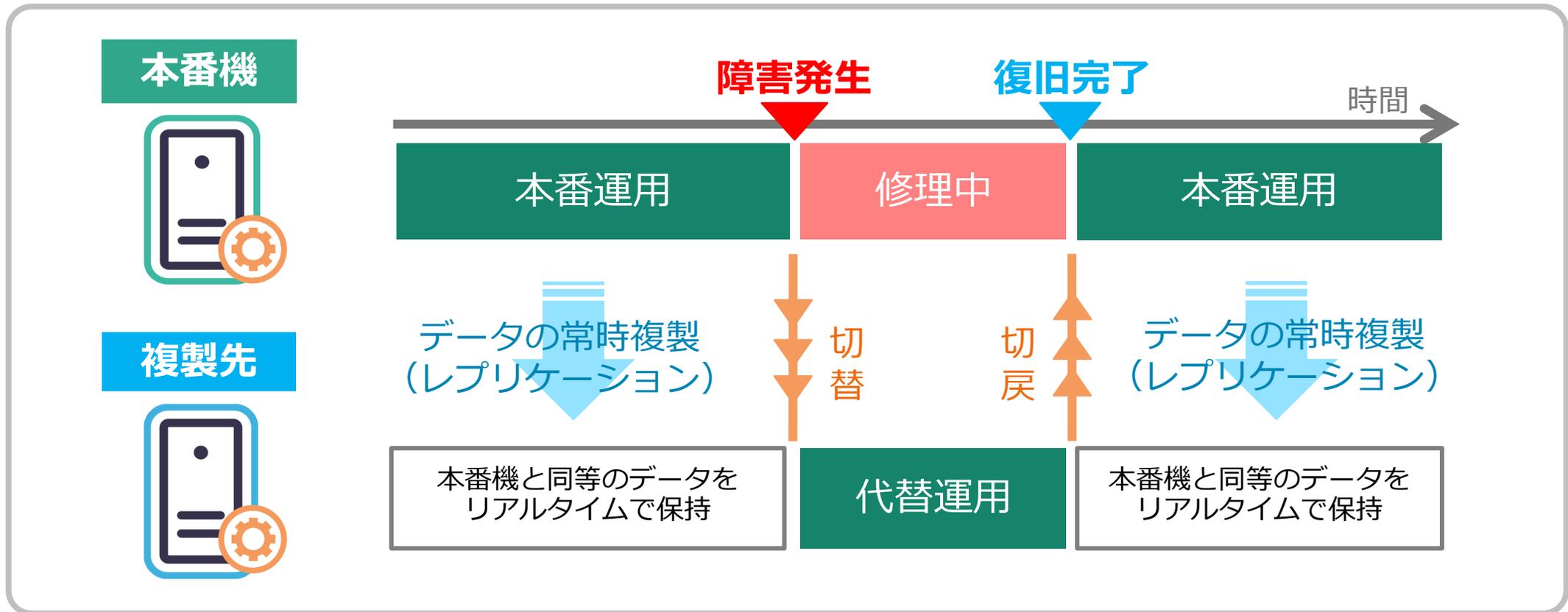


案件例 2：複製サーバで運用継続



サーバ修理中でもユーザはサービスを継続利用

管理者は修理やりカバりに集中



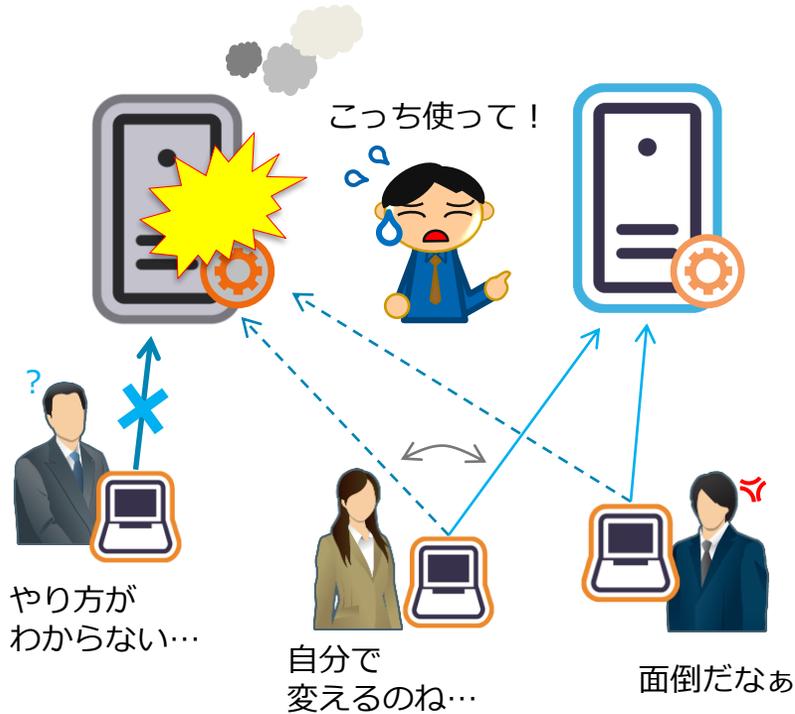
Arcserve Replication シリーズ

～ ReplicationとHigh Availabilityの違い～



Arcserve Replication

接続先変更は利用者で実施



Arcserve High Availability

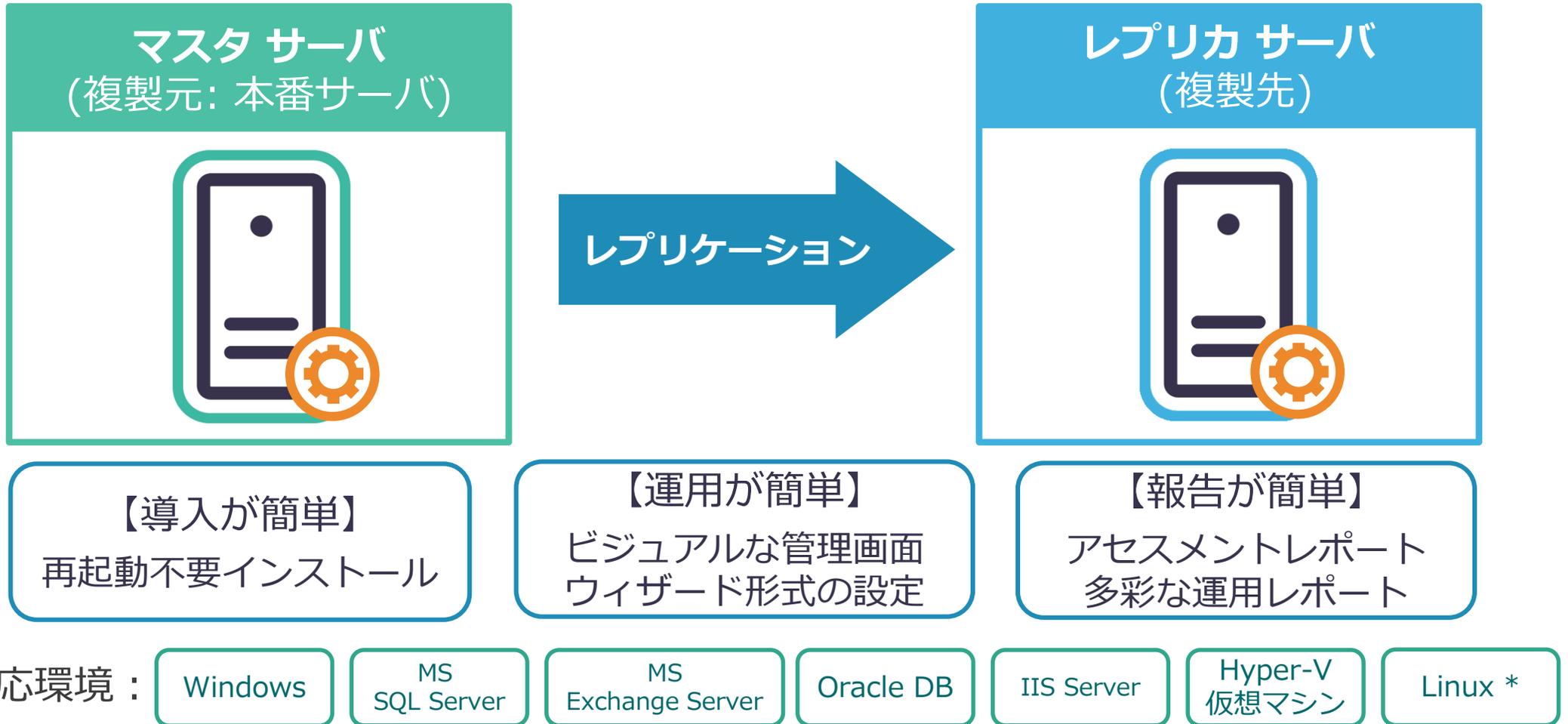
接続先を自動切り替え



Arcserve Replication



障害直前のデータで運用再開

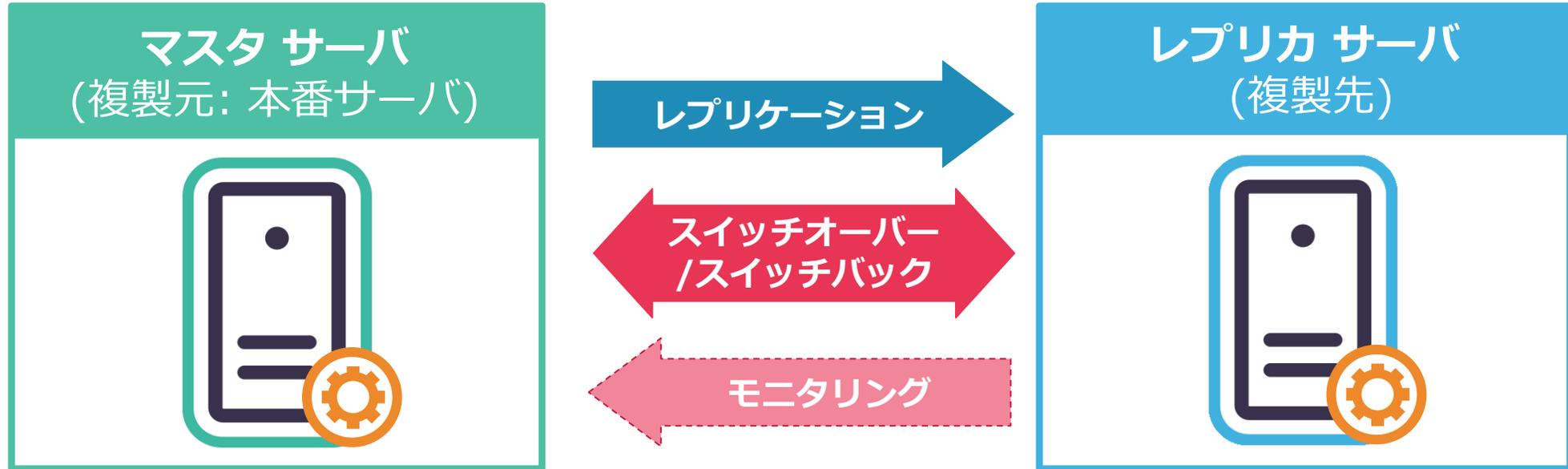


Arcserve High Availability



自動サーバ切り替えで、ごく短い時間で業務をそのまま継続

管理者は切り替えの作業ミスから解放



【導入が簡単】

切り替え手法の自動選択
アプリデータの自動選択

【運用が簡単】

サービス稼動状況監視
自動スイッチオーバー

【切り戻しも簡単】

簡素化された復旧手順
スイッチバック可能

対応環境 :

Windows

MS
SQL Server

MS
Exchange Server

Oracle DB

IIS Server

Hyper-V
仮想マシン

Linux *



Arcserve Replication 概要と仕組み

レプリケーションの仕組み



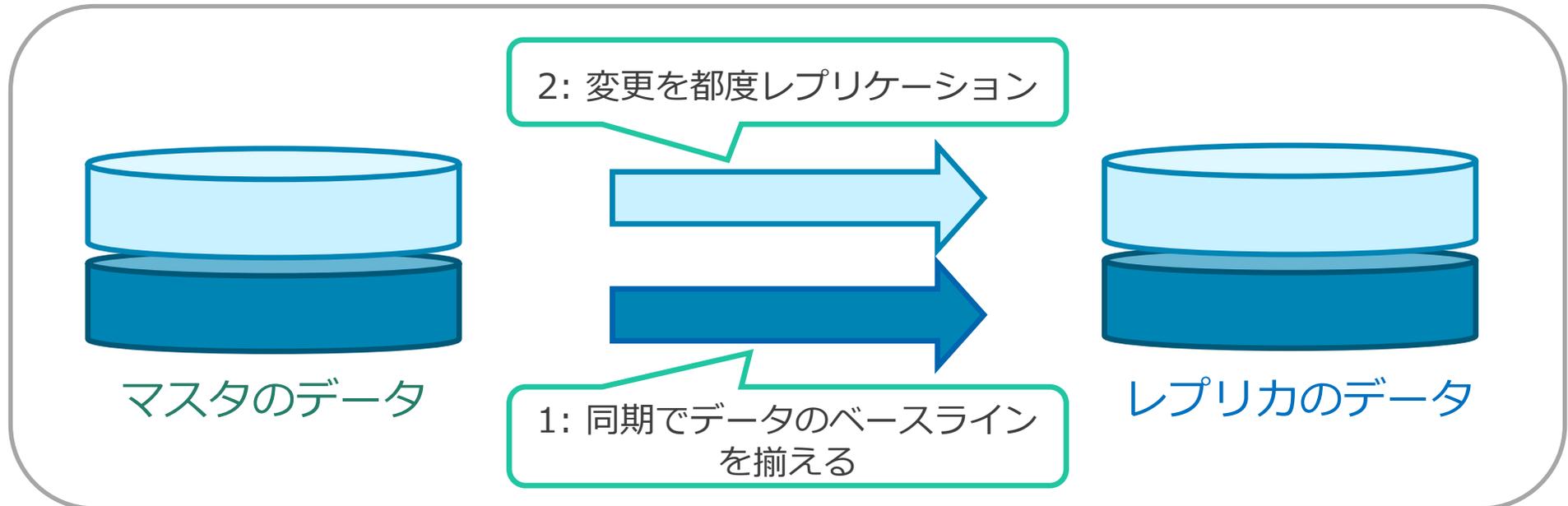
レプリケーションのフェーズ

同期 (Synchronization)

マスタ サーバと同じデータをレプリカ サーバに作成
(レプリケーションの前提フェーズ)

レプリケーション

マスタ サーバのファイルや DB の変更をリアルタイムにキャプチャし、レプリカ サーバに転送

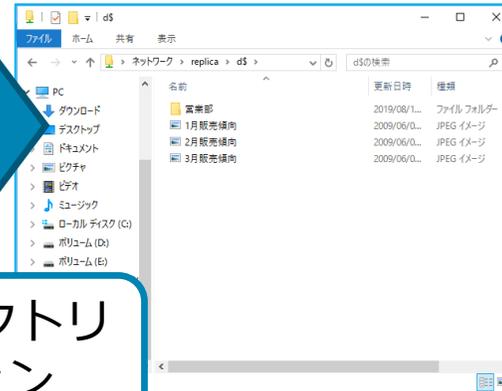
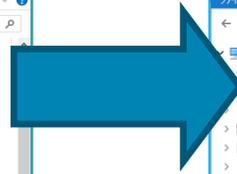
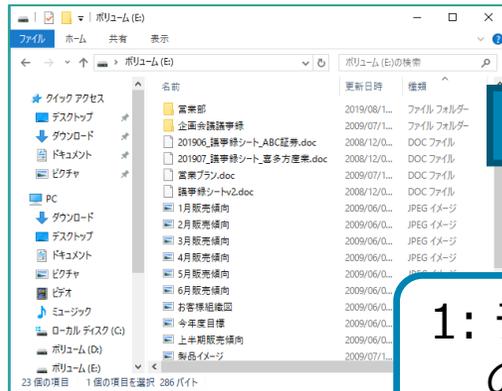
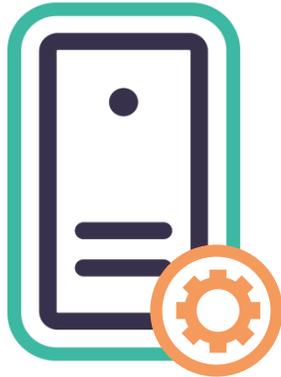




同期の仕組み (ファイルレベル同期)

4: 差分ファイルの転送と、レプリカ
のみに存在するファイルを削除 ※

マスタ



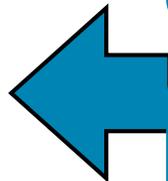
レプリカ



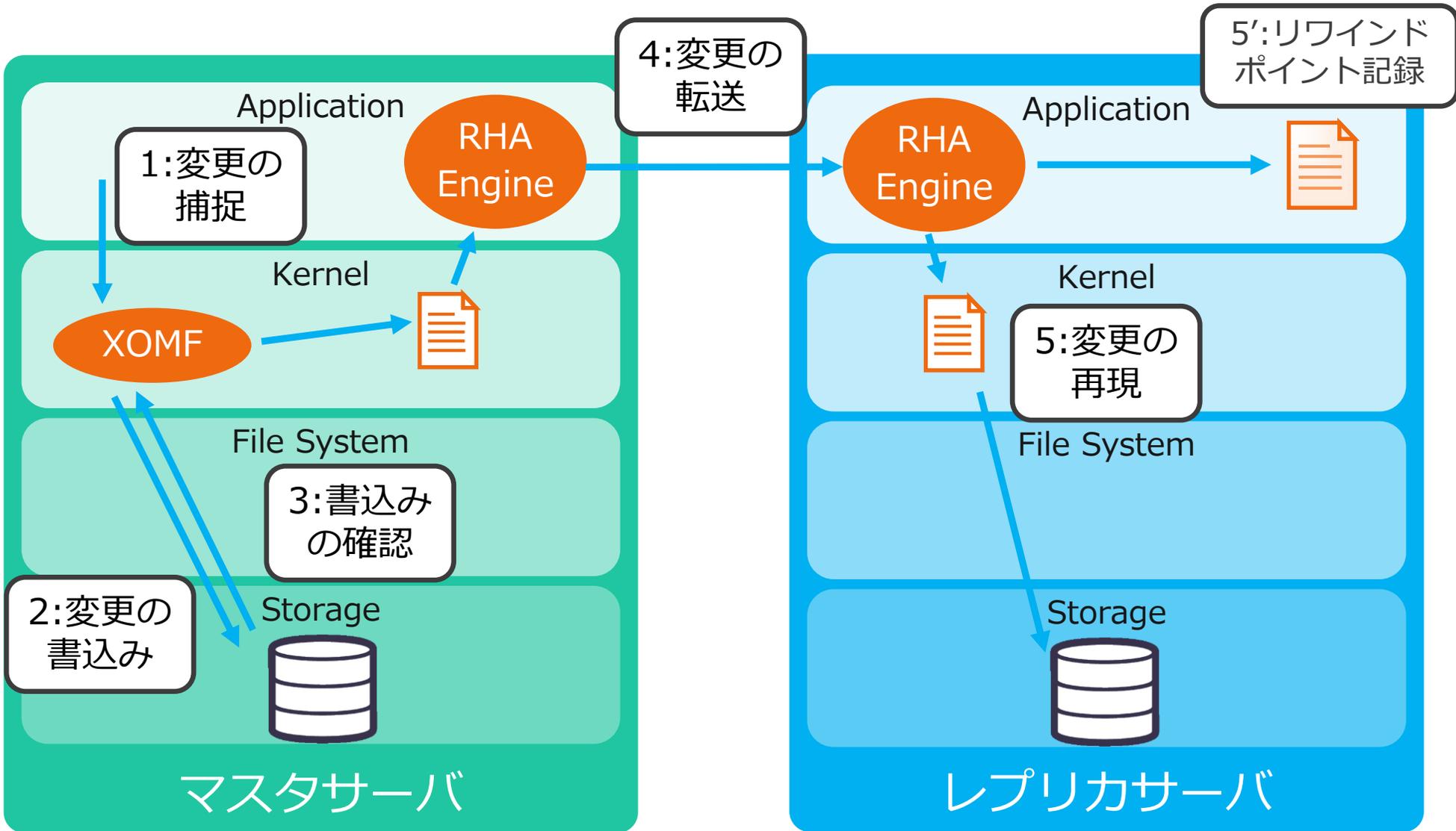
1: ディレクトリ
のスキャン

2: シグネチャ
の作成

3: シグネチャ
の比較



レプリケーションの仕組み





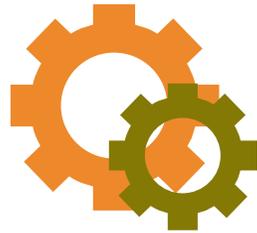
確実なレプリケーションを支える コンポーネントと機能

Arcserve Replication/HA コンポーネント



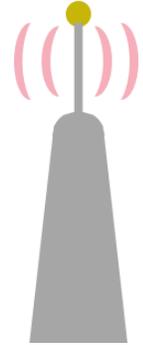
Arcserve RHA エンジン

- レプリケーションやスイッチオーバーを実行
- マスタ / レプリカ それぞれにインストール



Arcserve RHA コントロールサービス

- エンジンと通信し、レプリケーションの管理情報を集約
- マスタ / レプリカ 双方と通信可能なサーバにインストール



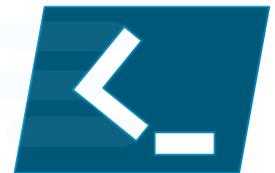
Arcserve RHA マネージャ

- シナリオの操作をするための管理コンソール
- コントロールサービスサーバからダウンロードして使用



Arcserve RHA PowerShell

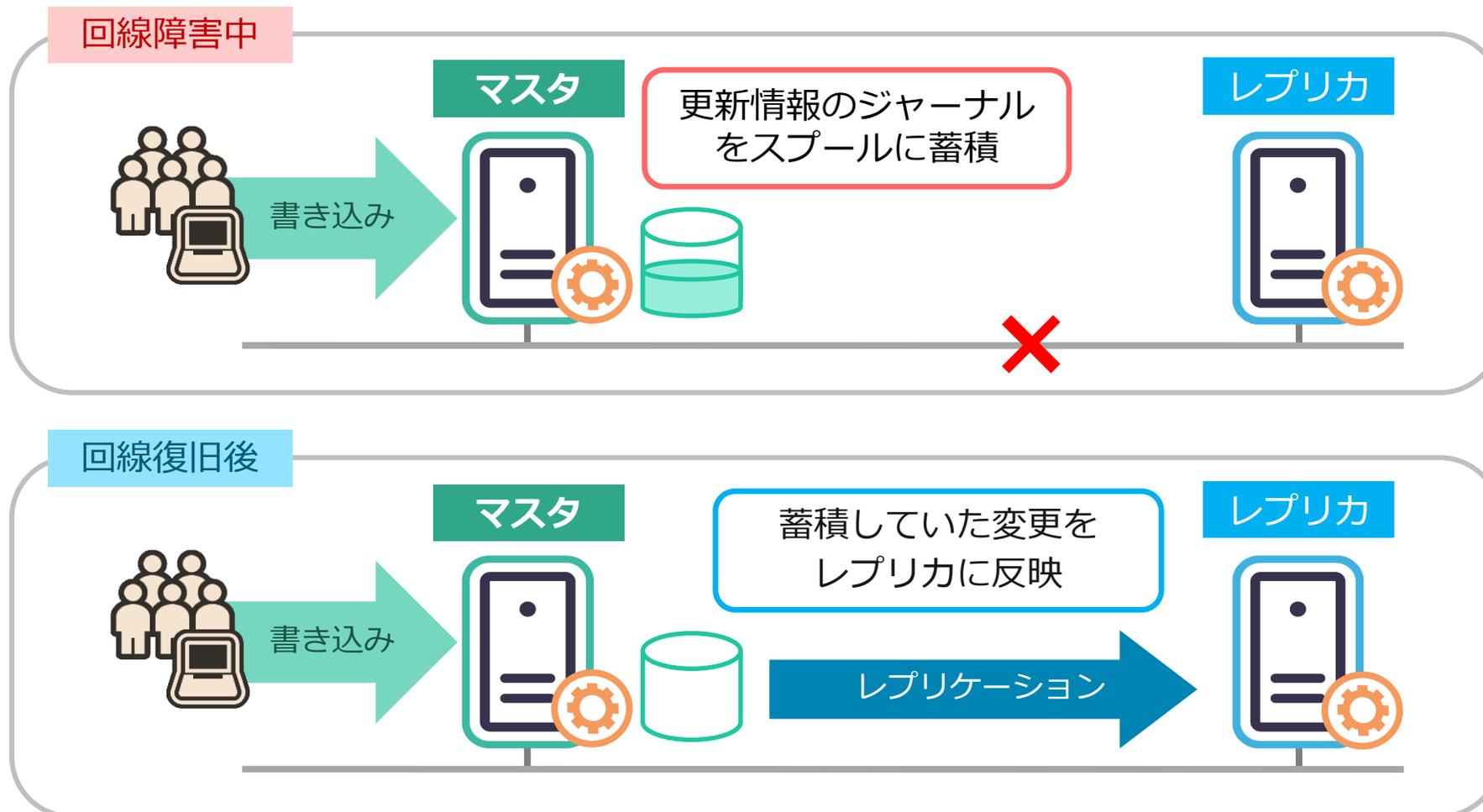
- コマンドでレプリケーションを操作
- コントロールサービスと通信可能なコンピュータにインストール



回線障害への対応



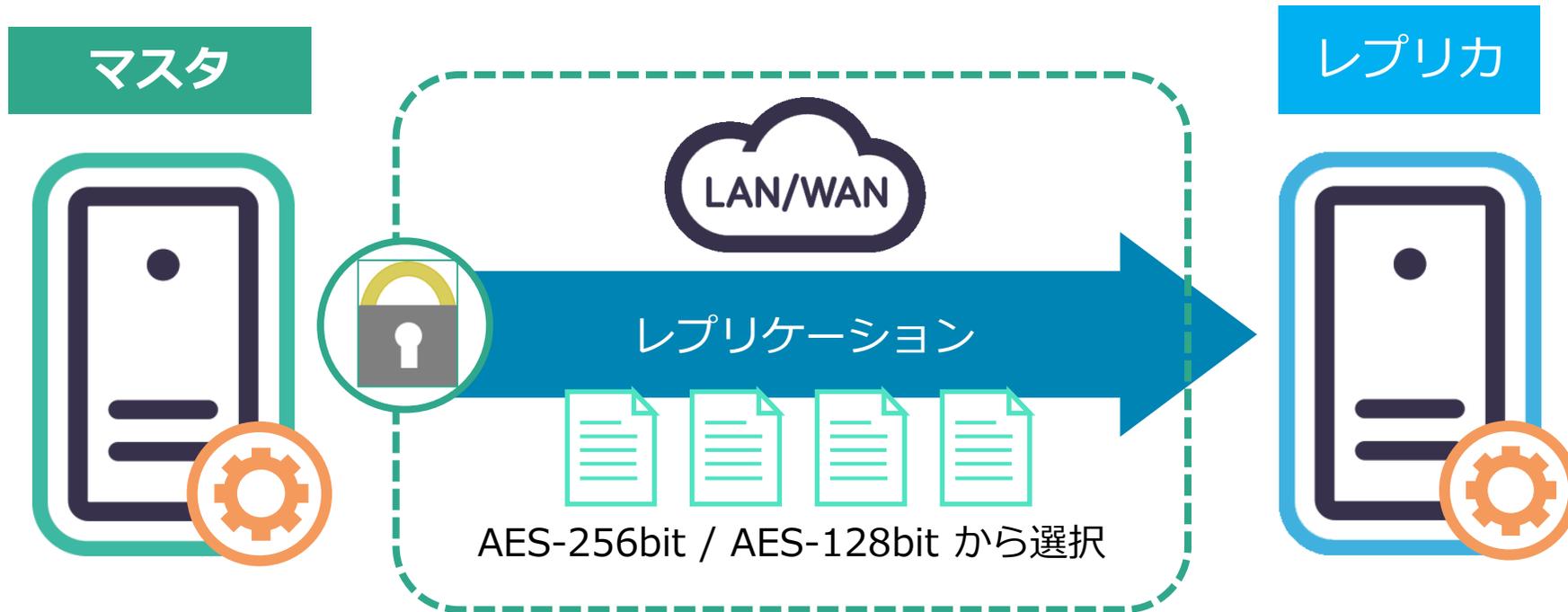
回線障害中はスプール領域 (HDD) に本番サーバの更新情報を蓄積



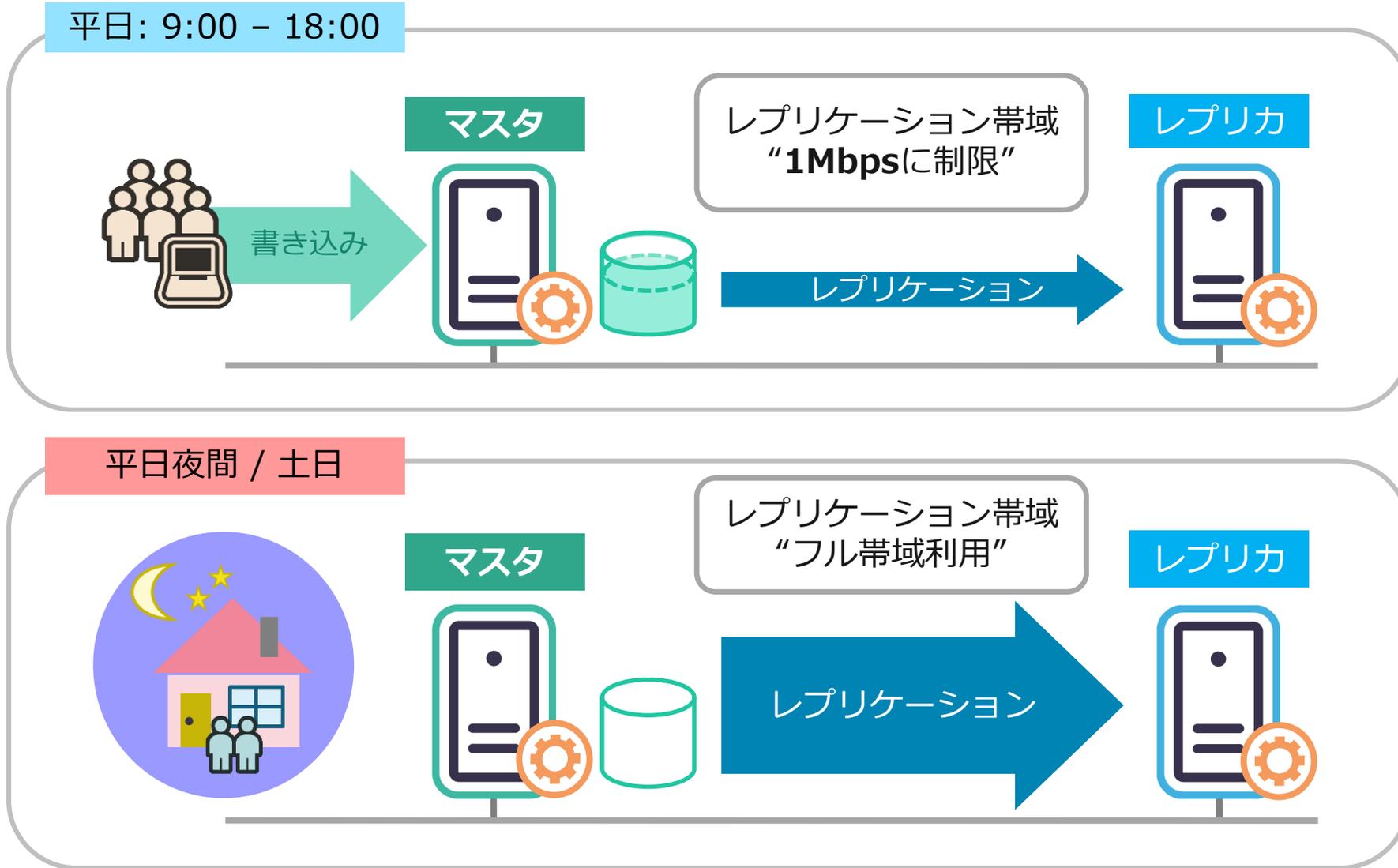
暗号化通信の利用



SSL で通信を暗号化し、安全な状態で遠隔地に複製



帯域制御で本番業務への影響を最小化

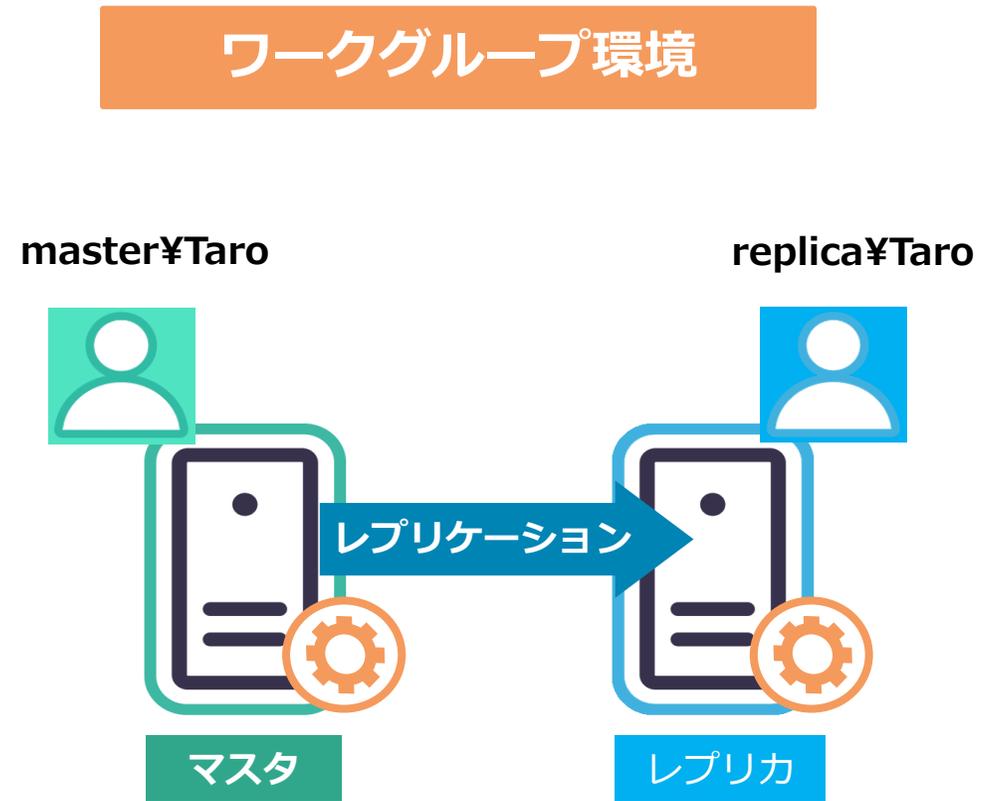
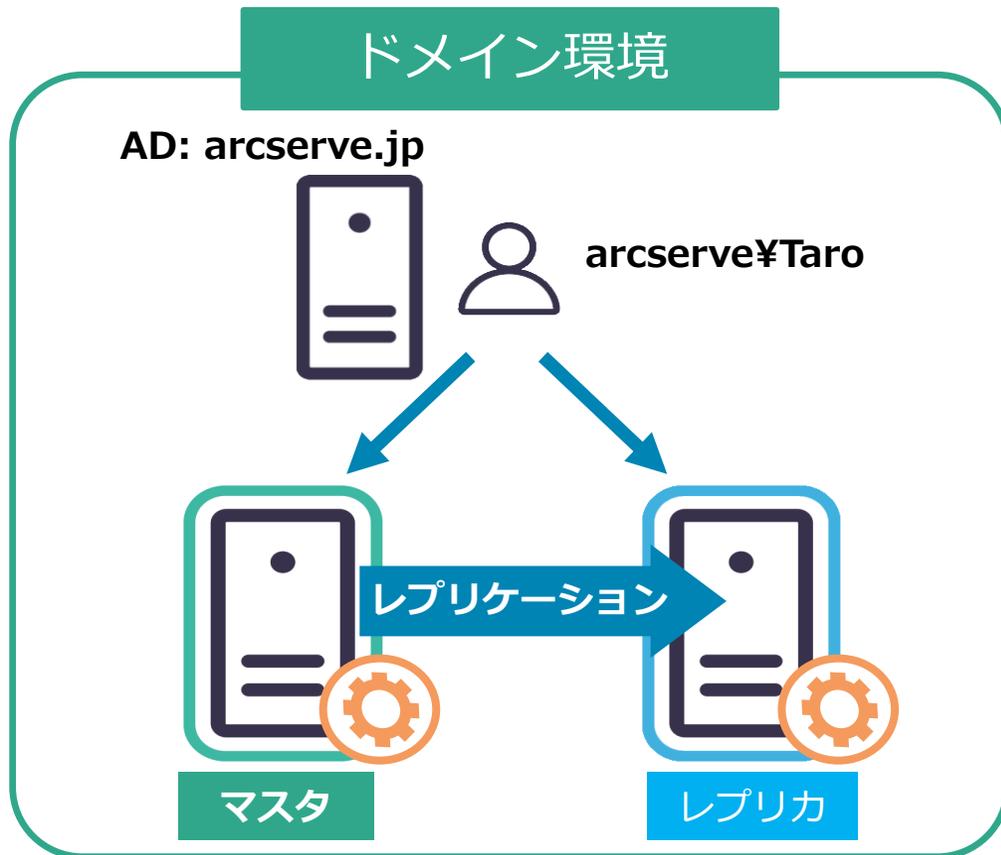




ワークグループ環境でのアクセス権引継ぎ

異なるユーザ管理でアクセス権を引き継ぎ

ユーザの結び付けを実施し、複製先でも設定したアクセス権を継承





その他情報

仮想環境での動作

Arcserve Backup との連携

シングルサーバ レプリケーション

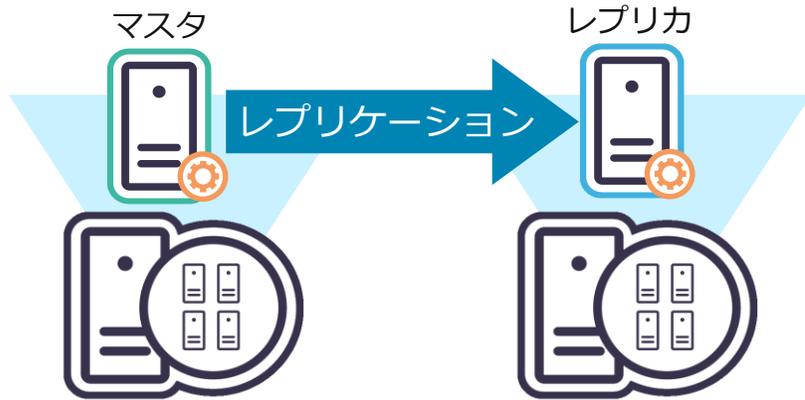
フルシステム シナリオ

仮想環境でのレプリケーション



ゲスト OS でレプリケーション

物理 OS と同様に、ゲスト OS をマスタ
やレプリカとして利用



VMware

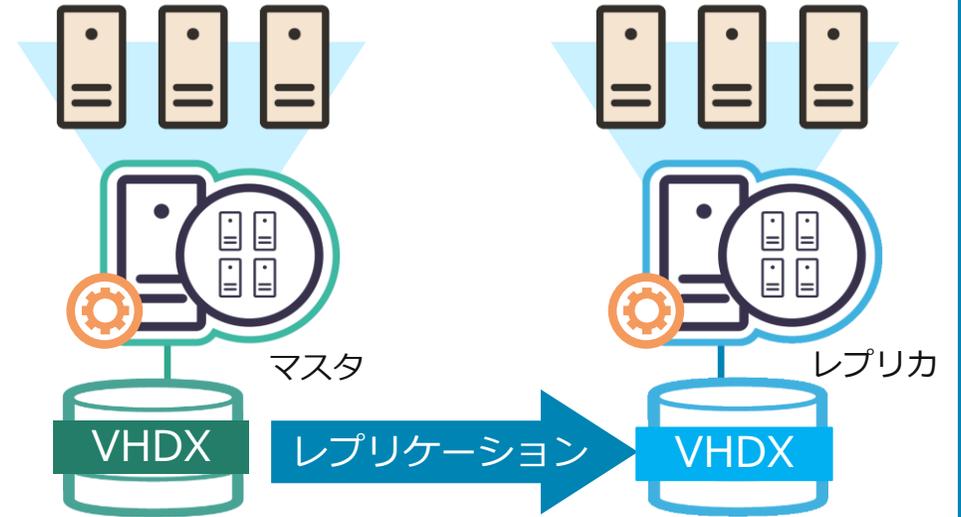
Hyper-V

XenServer

KVM

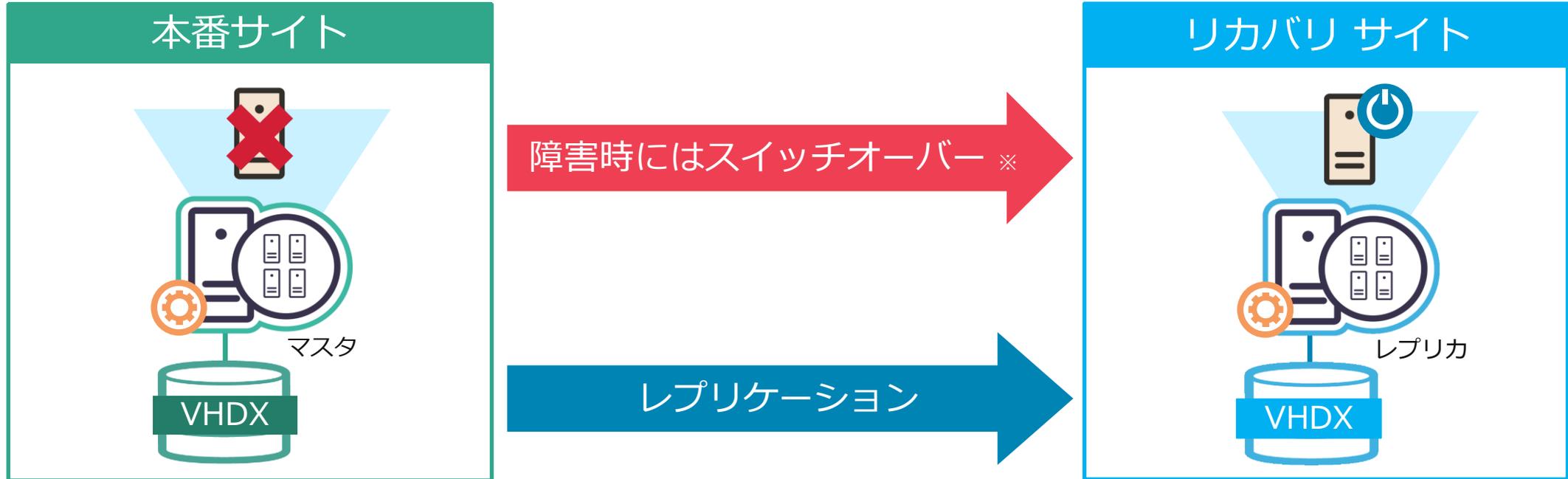
Hyper-V ホストでレプリケーション

Hyper-V ホスト間でゲストを丸ごと複製、
Hyper-V ホストをマスタやレプリカとして
利用



※ Hyper-V シナリオを作成 (保護対象の仮想
マシンは Windows ゲスト)

Hyper-V シナリオで仮想マシンを複製



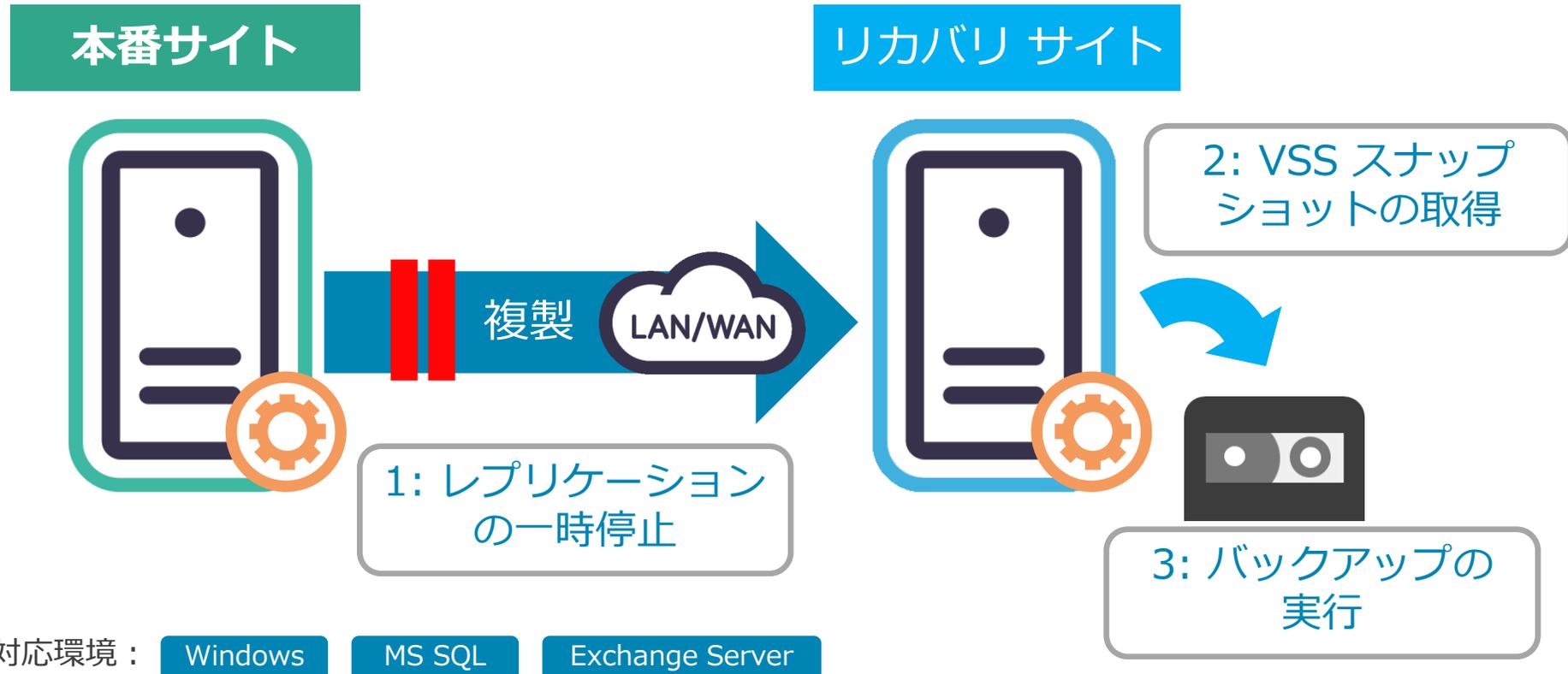
- Point 1 システム丸ごとの複製でレプリカに基幹システムの構築不要
- Point 2 仮想マシンに導入しているアプリを意識する必要なし
- Point 3 必要な仮想マシンだけを選んで災害対策を実現

Arcserve Backup との連携機能



スクリプト不要でリカバリ サイト (災害対策サイト) からバックアップ

本番サイトでのバックアップ時間を抜本的に改革
遠隔地にバックアップ データを保管

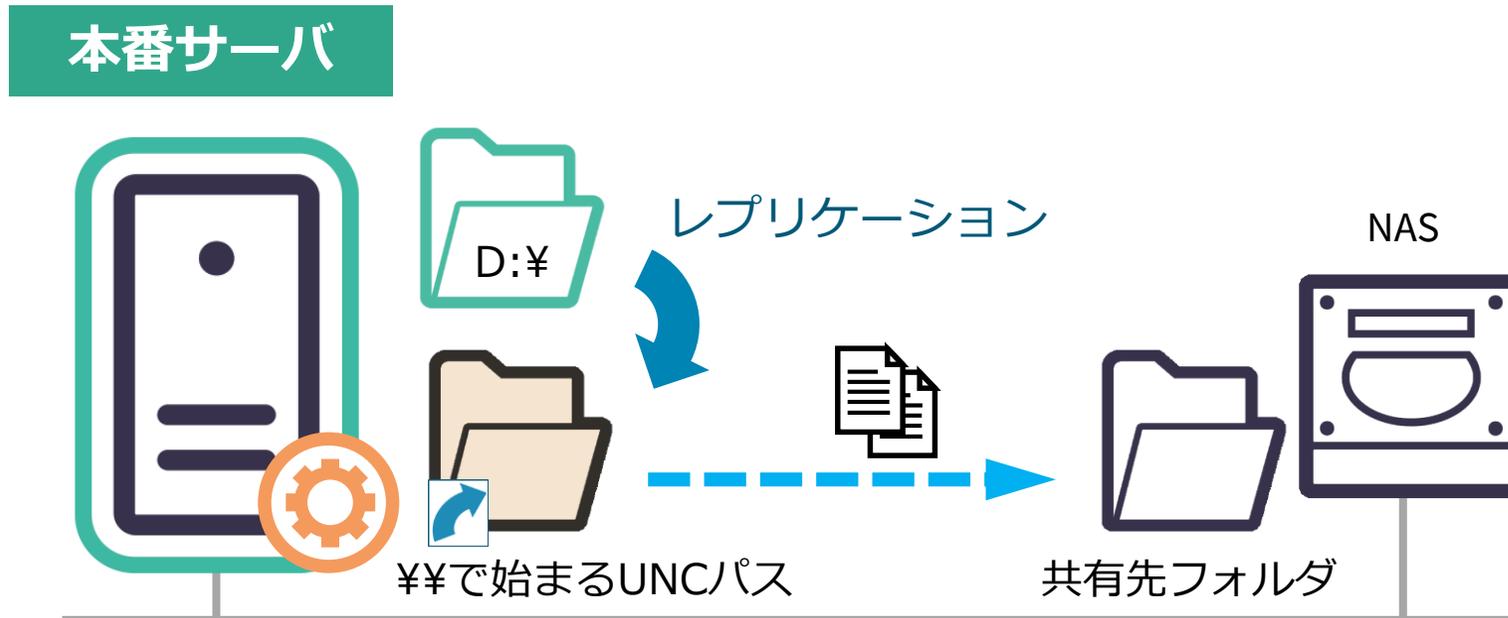




シングルサーバ レプリケーション (NAS 共有フォルダを使った複製)

複製先に NAS 共有フォルダを指定

容量の多い NAS を利用し、複数サーバからレプリケーション
片側に NAS を利用し、導入コストを削減

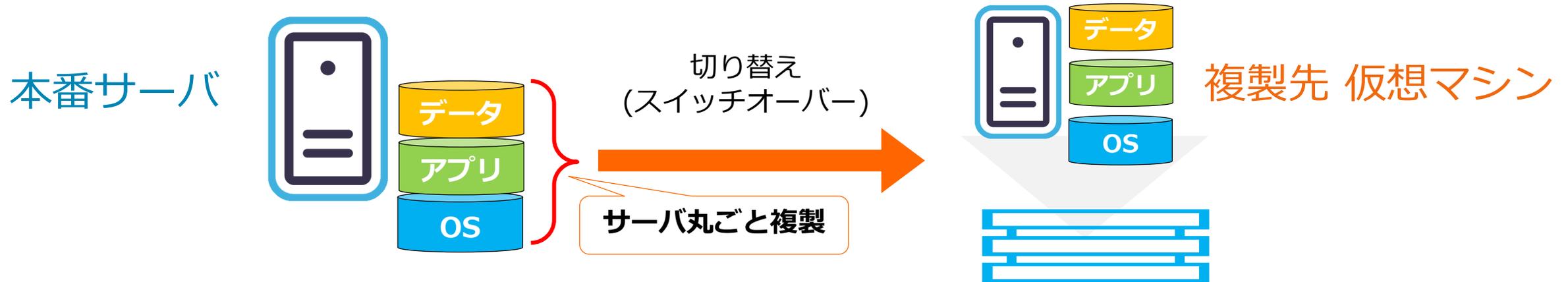


※ ライセンス規定上、共有フォルダの利用は NAS (Linux NAS / Windows Storage Serverなど) 上のフォルダのみ
※ 複製元に共有フォルダを利用する場合は、ブログ <http://arcserve.txt-nifty.com/blog/2010/06/post-df9c.html> を参照



フルシステム シナリオ でサーバを丸ごと複製

- システム全体(データ/アプリ/ Windows または Linux OS)をリアルタイム複製
- 複製先は仮想環境やクラウドを利用
- 切り替えは自動または手動で仮想マシンを起動するだけ



複製先の仮想環境で、直ぐに業務を再開 (RTO / RPO を短縮)

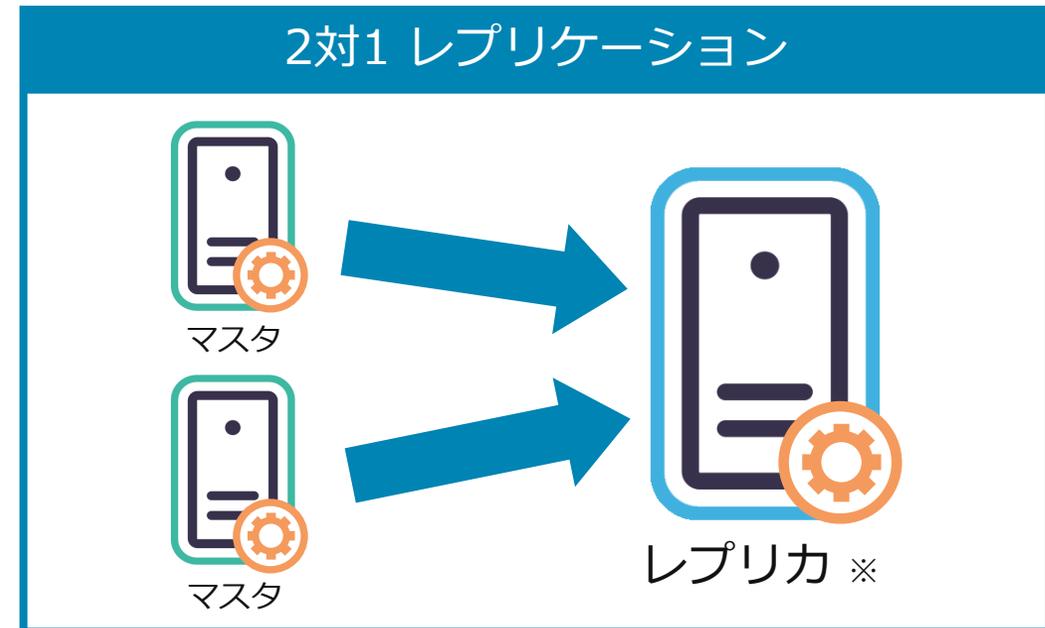
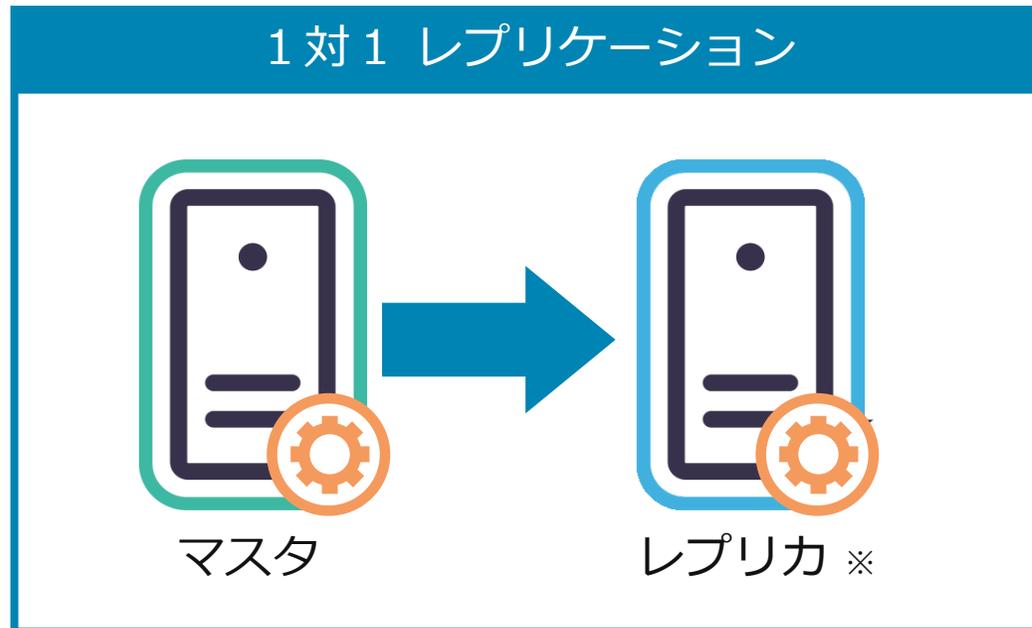


ライセンス構成

ライセンスの基本: 1サーバ = 1ライセンス



レプリケーション構成

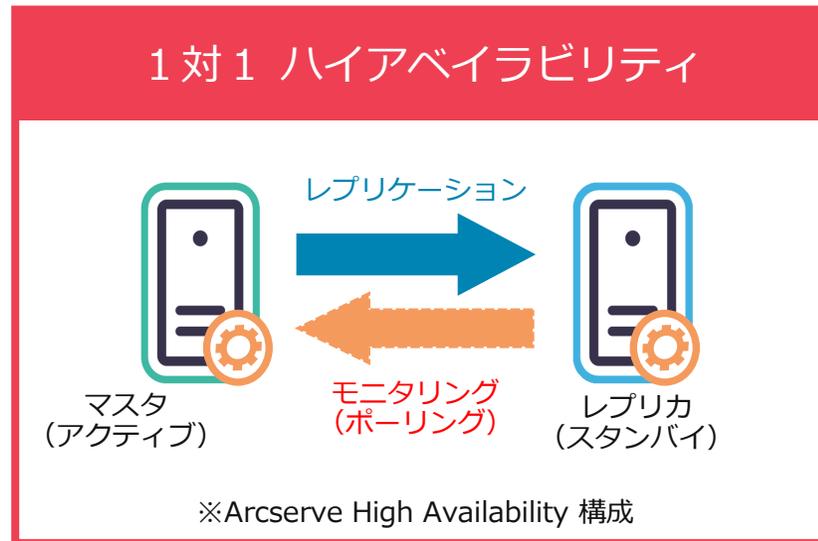
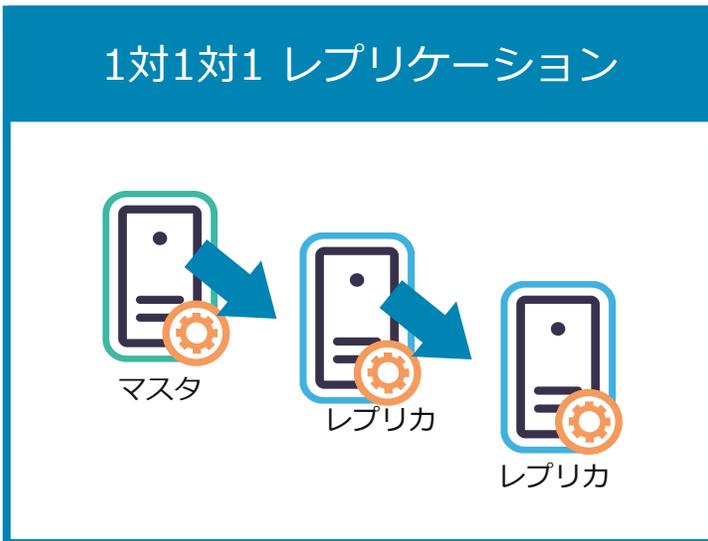
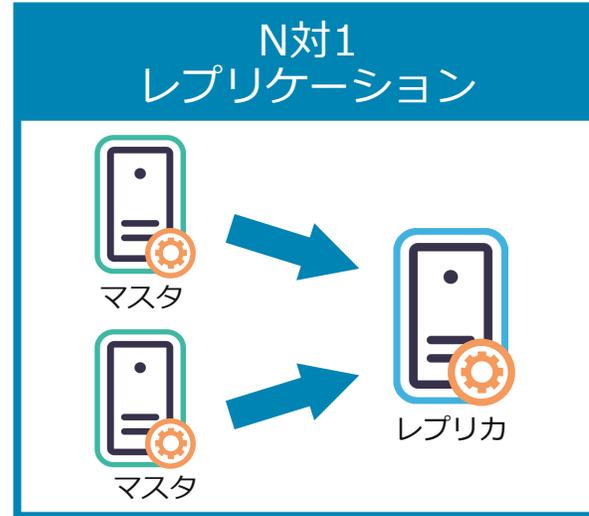
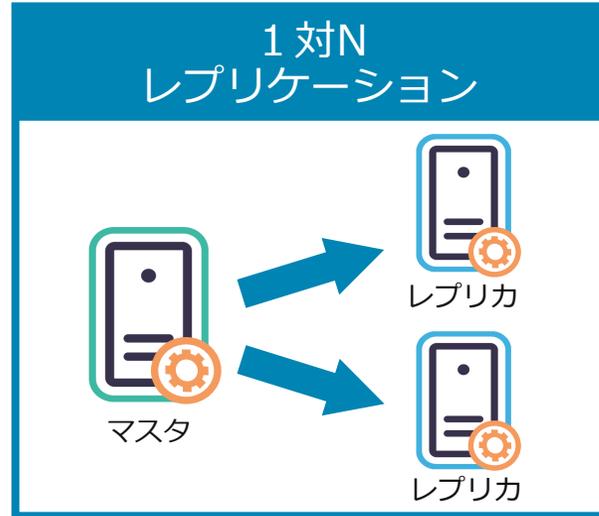
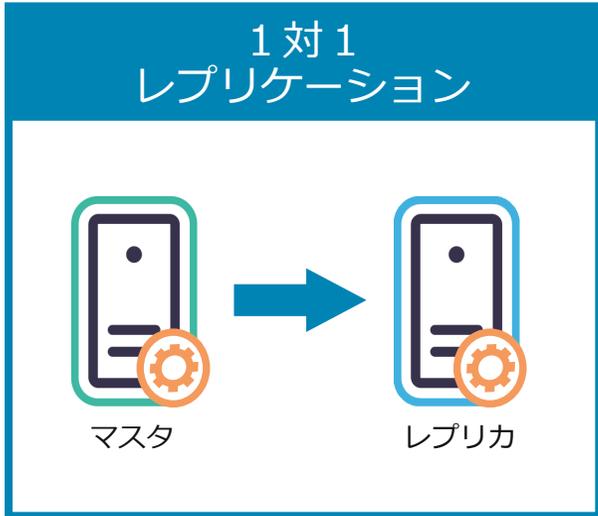


ライセンス数



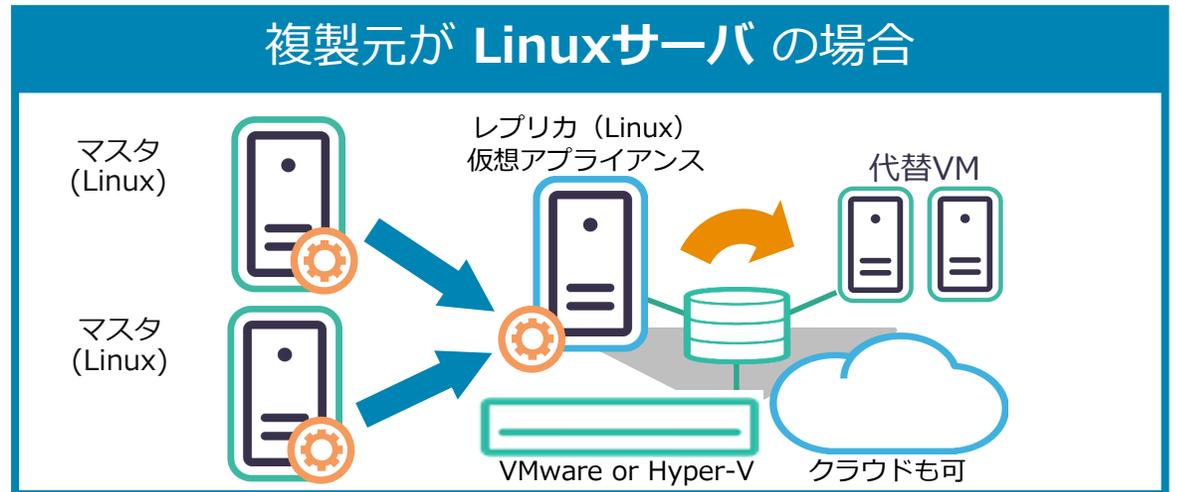
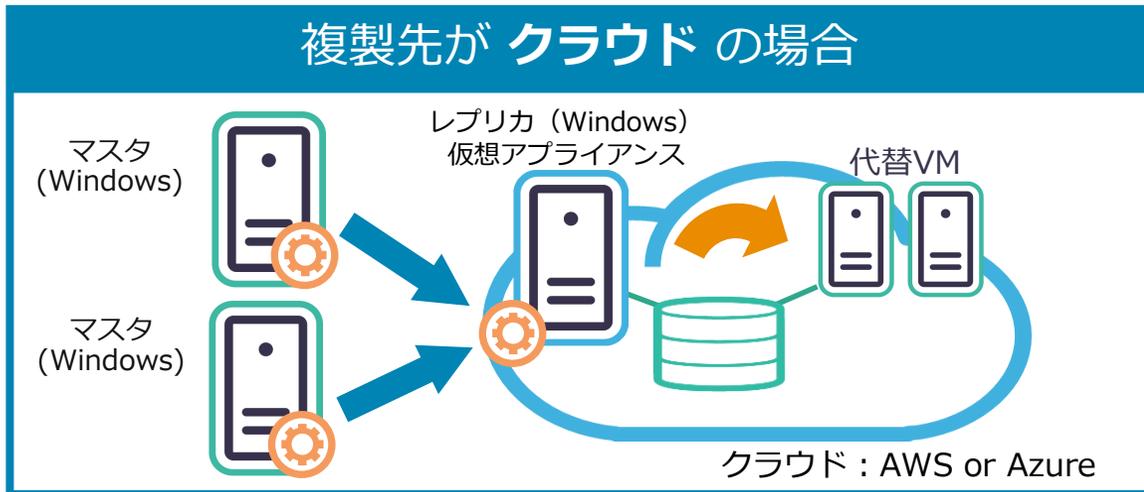
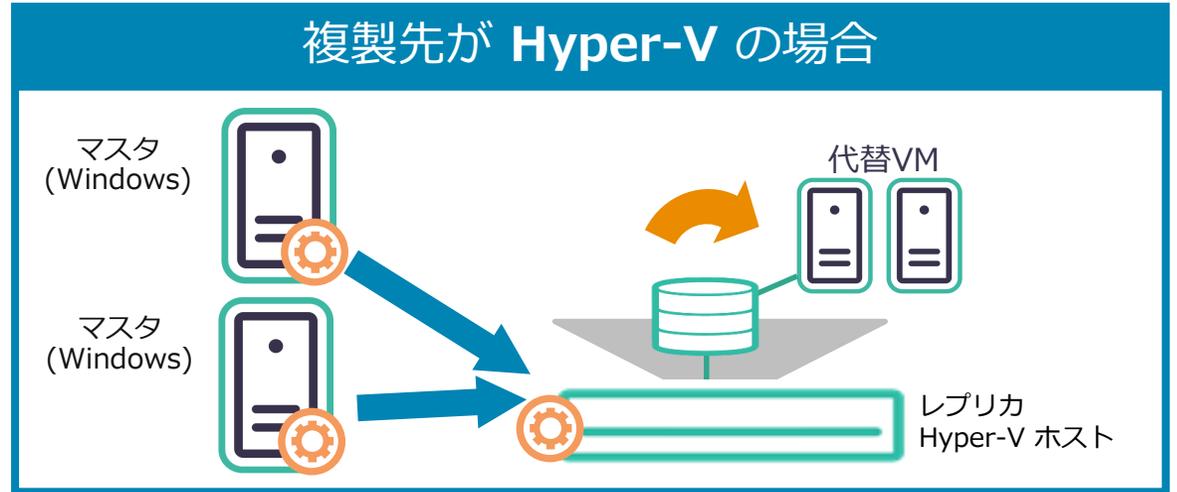
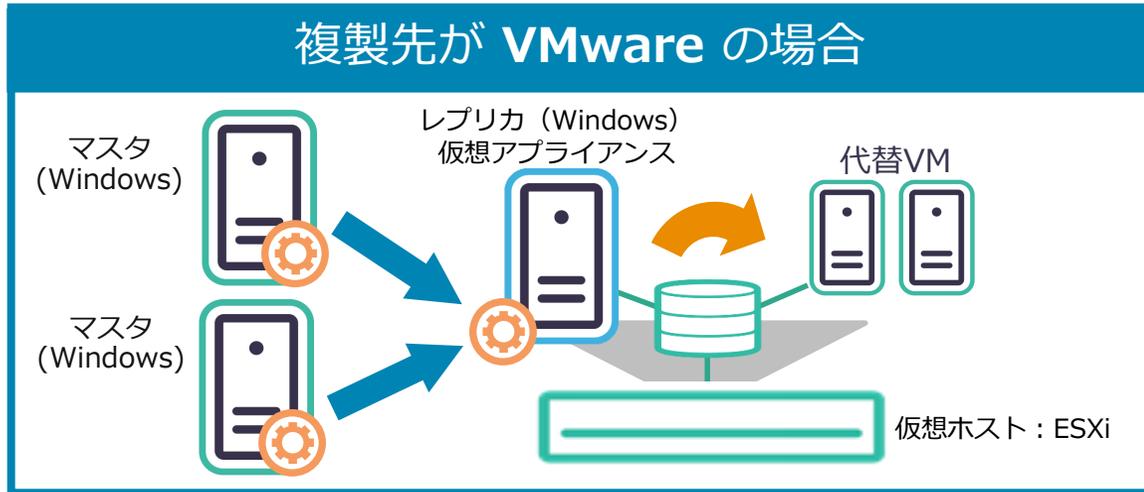
※ フルシステム シナリオの場合は、仮想アプライアンスがライセンス対象 (代替VMは不要)

Arcserve Replication/HA の構成パターン



Arcserve Replication/HA の構成パターン

～ フルシステム シナリオの場合 ～



製品情報とお問い合わせ窓口



Arcserve ポータルサイト : [arcserve.com/jp](https://www.arcserve.com/jp)

カタログセンター（カタログ、ライセンスガイド、インストールガイド、技術資料、お客様事例）

Arcserve カタログセンター

検索



Arcserve RHA の無償トライアル

無償トライアル版は30日間ご利用頂けます。<https://www.arcserve.com/jp/free-rha-software-trial/>
Arcserve RHAの導入を検討される場合には、評価版の利用をお勧めします。



Arcserve ジャパン ダイレクト（ご購入前のお問い合わせ窓口）

例：「この構成に必要なライセンスは？」、「XXXをサポートしていますか？」



フリーダイヤル：0120-410-116

（平日 9：00～17：30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます）



Webフォーム：<http://www.arcserve.com/jp/japandirect>



メール：JapanDirect@arcserve.com